

東海第二発電所 設置変更許可に係る審査資料の確認体制について

1. はじめに

審査資料の提出にあたり、適合性の考え方、先行プラントとの差異、記述の濃淡の統一、水平展開等に抜けがないように下記の各段階で確認を行う。最終的には、和智常務（経営層含む）を含め確認を実施する。

2. 各段階での確認者、確認における留意点（例）

- ① **各担当Gr担当**：各シーケンス間の整合、担当分野、逐条毎での整合確認、他<sup>※1</sup>
- ② **各担当GM**：有効性評価全体での整合確認、他<sup>※1</sup>
- ③ **審査統括（主査）**：有効性評価、SA設備／技術的能力、DB間の各分野をまたいで水平展開<sup>※2</sup>、反映すべきもの等がないか確認、他<sup>※1</sup>
- ④ **和智常務、他**：先行プラントとの相違点、記載内容の統一性等を中心に確認実施

※1：各段階においても先行プラントとの相違点等の確認を行いダブル&トリプル確認とする。

※2：水平展開の漏れを防ぐために日々、審査統括間での情報共有を密に実施

3. 確認体制

東海第二発電所の新規制基準対応に係る審査資料の確認体制について以下に示す。

担当箇所	業務内容	備考
和智常務、他	・先行プラントとの相違点、記載内容の統一性等を中心に確認	・和智常務、以下
審査統括（主査）	・審査方針／審査資料の社内検討（準備会）の統括 ・水平展開の反映確認責任者	・室室長、副室長（審査責任者及び審査責任者代理）
担当GM	・審査資料の承認 ・ヒアリング／審査会合での審査資料の説明	・各GM
担当Gr	・審査資料の作成 ・ヒアリング／審査会合での審査資料の説明	・各担当Gr

※審査統括の所掌：

- ・有効性評価：福山室室長、SA設備／技術的能力：福田副室長、DB関連：山本（昌）副室長
- ・耐震・耐津波関連：金居田副室長、火災防護&内部溢水：竹内副室長

以上

審査資料提出にあたっての最終確認 (④)

最終確認者：和智常務

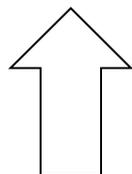
門谷参与、松浦担任、近江室長代理  
(必要に応じ、メンバー設定)

確認の留意点 (例) :

- ④ 先行プラントとの相違点、記載内容の統一性を中心に確認を実施

異なる視点での確認

確認体制で強化した部分



審査資料作成の各段階 (①、②、③)

コアメンバー

全体責任者

- ・石坂室長

分野毎審査統括：(段階③)

- ・福山室室長
- ・福田副室長
- ・山本 (昌) 副室長
- ・金居田副室長
- ・竹内副室長

確認の留意点 (例) :

- ③ 有効性評価、S A設備/技術的能力、D B間の各分野をまたいで水平展開、反映すべきもの等がないか確認  
先行プラントとの相違点の確認※ 1

コアメンバー：水平展開の反映確認責任者

確認体制で明確にした部分

各担当GM (段階②)

確認の留意点 (例) :

- ② 有効性評価全体での整合確認、他※ 1

各担当 (段階①)

確認の留意点 (例) :

- ① 各シーケンス間での整合、担当分野、逐条毎での整合確認、他※ 1

※ 1 : 各段階においても先行プラントとの相違点等の確認を行いダブル&トリプルの確認とする。